

しめんとし、且つ従業員の自主的闘争より罷業を目標に之を煽動し、天墜せる黨勢の挽回に努めてゐる。尙此の間國社黨並に左翼團體の策動ありと雖も其の勢力振はず、要するに舊勞大黨の排撃戰術は勢ひ舊社民黨の指導方針を強化せしむることとなり、かくて行懸り上遂に罷業を決定するに至るか、或は亦巧に既得權確保に方向轉換を行ひ得るか、合同案の議會上程期切迫と共に最も注視を要すべく今や製鐵所従業員は未曾有の昂奮状態を示してゐるので、取締當局に於ては萬般の警戒準に遺漏なきを期してゐる。

## 二、舊社民黨系の運動

舊社民黨系右翼四派の合同反對々策委員會を中心とする反對運動は全従業員を指導するに至り、一月末より引續き連

日各工場に於て従業員大會を開催し或は上京委員を派遣して反對氣勢を揚げ、かくて本運動は次第に白熱化して行つたのであるが、二月一日より同二十日に至る重なる事項を擧ぐれば次の通である。

### 1、第四次陳情委員の東上

各職場別従業員大會にて選出したる上京委員二十四名は二月三日午後六時八幡驛發汽車にて出發、約二千余名の見送人があつた。

尙官勞同志會に於ては二月二日夜緊急執行委員會を開催し例年の行事たる団体旅行を此の機會に實行すべく、四派對策委員會に提案適當なる時期に大舉上京することを決定したのである。

而して第一回先遣委員たる幸義知外二名は二月四日午前